

「第33回かえで祭」一般公開—来場者3414名！—

6月2日（土）は、本校の文化祭である「かえで祭」の一般公開でした。来場者数（受付者数）は、3414名でした（昨年は3280名）。ご来場いただきました、保護者の皆様、近隣の皆様、児童生徒の皆様、本当にありがとうございました。並木中等教育学校は、これからも、「皆様に愛される学校」をめざして努力してまいりますので、今後とも、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。下に開祭式での校長講評を掲載します。

- 今年の「かえで祭」は、天候にも恵まれ、最高の2日間だったと思います。特に、本日の一般公開での、皆さんの取組は、とても素晴らしかったです。
- さて、開祭式でお願いした「日本語の4技能」のひとつ「話す力」は、充分発揮できましたか。滑舌よく、クリアな「声」で語尾までハッキリ話すことは、出来ましたか。このことは、これからの学校生活でも心がけて欲しいと思います。
- ここで、今回の「かえで祭」で、私の印象に残った企画を2つあげます。
- 1つ目は、1年次生の「かえでツーリスト」です。一生懸命、「クリアな声ではっきり話している姿」が素晴らしかったです。質問に対する受け答えもしっかりしており、さすが並木中等生だと思いました。2つ目は、生徒ホール（ラーニングコモンズ）で開催されていた「クイズ大会」です。各組代表による「縦割りのチーム編成」がとても良かったです。本校では、「縦割りの学習」である「T.O.学習」を実施することがあります。後期生と前期生が協力して回答する「クイズ大会」は、とてもいい感じでした。
- さて、今回のかえで祭で、皆さんは、部屋の装飾をしたり、いろいろなものをつくったと思います。その時、アートを意識しましたか。美術で習った「色相環」や、デザインを意識してつくった人は、A.A.L（アート・アクティブ・ラーニング）になっていたと思います。クラス新聞やクラスパフォーマンスでも「アート感覚」が発揮されているものがたくさんありました。AIやロボットの発達により大きく変化している現代では、知識や技能だけでなく、クリエイティブな「ものづくりの力」や「アート感覚」が非常に大切になっています。
- アメリカのアップル社は、技術力だけでなく、「アート感覚」「デザインの力」で世界ナンバーワンになりました。そこが、スティーブジョブズの偉大なところですよ。
- 今回の「かえで祭」で、皆さんは、「アート感覚」を少し磨いたと思います。ぜひ、これからの生活の中でも、色やデザインなど、「アート感覚」を磨いて欲しいと思います。
- 最後になりますが、「かえで祭」の大成功の背景には、小西実行委員長をはじめ約180名の実行委員の皆さんの献身的な努力がありました。ここで、実行委員の皆さんに対して、全員で感謝の拍手を送りたいと思います。みなさん、たいへんお疲れ様でした。

